

平成 28 年度桔梗が丘自治連合協議会定時総会議事録

日 時	平成 28 年 5 月 21 日 (土) 13:30～17:00												
場 所	桔梗が丘市民センター・講堂												
出席者	評議員 平成 27 年度評議員 32 名 (欠席 7 名) 平成 28 年度評議員 36 名 (欠席 3 名) 自治連合協議会 平成 27 年度理事 17 名 監事 2 名 平成 28 年度理事 17 名 監事 2 名												
1. 開会の辞	廣岡事務局長が司会を務め、平成 28 年度桔梗が丘自治連合協議会定時総会の開会を宣言した。												
2. 会長挨拶	辻森自治連合協議会会長から、各自治会や協議会の活動への参加に対する感謝、評議員に対する活発な議論のお願い、ご来賓に対するご尽力及びご協力・ご支援に対する感謝を表す挨拶があった。												
3. ご来賓挨拶	司会者から、ご出席いただいた来賓の紹介があり、来賓の代表として亀井利克名張市長からお祝いの挨拶があった。 (来賓) <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">名張市長</td><td style="width: 50%;">亀井 利克 様</td></tr> <tr> <td>名張市教育長</td><td>上島 和久 様</td></tr> <tr> <td>名張市地域環境部長</td><td>田中 明子 様</td></tr> <tr> <td>名張警察署地域部課長</td><td>若林 一滋 様</td></tr> <tr> <td>名張市市議会議員</td><td>川合 滋 様</td></tr> <tr> <td>名張市市議会議員</td><td>柏 元三 様</td></tr> </table> 亀井市長挨拶の主旨 ・福祉の充実、安全安心のまちづくり、青少年の健全育成、環境保全、文化とスポーツの振興のため等多岐にわたる活動に対して自治連合協議会に感謝と御礼を申し上げたい。 ・名張市は今年度、地域福祉教育総合支援システムを立ち上げる。これまで色々な分野でそれぞれが取り組んできたものを一同に集まって顔の見える関係を作ること、もっと簡素に、効率的に、効果的に進めることができるようにする。 ・地方創成のため、これからは教育により力を入れる。小中一貫教育、5 歳児の義務教育化に各方面と共同して取り組みたい。 ・先月、熊本を震源とした地震が発生した。今後発生が予想されている南海トラフの大規模地震では三重県は大きな被害が予想されている。11	名張市長	亀井 利克 様	名張市教育長	上島 和久 様	名張市地域環境部長	田中 明子 様	名張警察署地域部課長	若林 一滋 様	名張市市議会議員	川合 滋 様	名張市市議会議員	柏 元三 様
名張市長	亀井 利克 様												
名張市教育長	上島 和久 様												
名張市地域環境部長	田中 明子 様												
名張警察署地域部課長	若林 一滋 様												
名張市市議会議員	川合 滋 様												
名張市市議会議員	柏 元三 様												

	月に防災の訓練を行うのでぜひ皆さんに参加頂きたい。 司会者から、川崎二郎衆議院議員から寄せられたお祝いメッセージの披露があった。 亀井市長挨拶のあと、来賓3名退席 来賓3名引続き傍聴（田中部長・川合議員・柏議員）
4. 議 事	
(1) 総会成立宣言	司会者から、「本日の総会は、協議会規約第18条の規定に基づき、評議員定数39名のところ32名の出席であり、評議員の過半数が出席しておりますので、総会は有効に成立しています。」と報告があった。
(2) 議事録署名人選任	本定時総会の議事録署名人に2番町第3区の竹澤陽一氏と3番町の中川健氏を選任し承認された。
(3) 議長挨拶	繁田邦明議長、梅本久子副議長が着席し、繁田議長及び梅本副議長から各々挨拶があり、議長からスピーディな進行に努めるとの表明があった。
(4) 議案第1号 平成27年度事業報告及び協議会会計決算の承認に関する件	繁田議長：本総会資料に基づき会議を進行し、議案第1号、議案第2号及び議案第3号は一括審議とする旨の報告があった。議案第1号、議案第2号、議案第3号について執行部に対して提案説明を求めた。
(5) 議案第2号 平成27年度“ほっとまち”プロジェクト事業報告及び特別会計決算の承認に関する件	事業報告に先立って、会長より総会資料 P1「平成28年度主要課題」について説明があった。 特に1項目「小中学校の規模・配置適正化後期計画及び隣接型小中一貫校設置」について、市教育委員会の住民説明会は保護者、住民にとって十分な理解を得られるものではなく、多くの質問・意見等が有りました。
(6) 議案第3号 平成27年度公民館事業報告及び公民館会計決算の承認に関する件	当自治協議会は提言委員会を設置し、同市教委の説明・疑義を精査・検討を行いました結果、本日、評議員、理事の皆さまにお渡ししました提言書にまとめ、5月23日に名張市長、教育長及び関係先に提出することと、桔梗が丘住民の皆さまに各戸配布する旨、報告があった。 ○ 平成27年度委員会・部会事業報告 ＜総務委員会＞ 大垣総務委員長から、総会資料 P4～ P5「平成27年度事業報告書 総務委員会」に沿って説明があった。 ＜企画運営委員会＞ 阪本企画運営委員長から、総会資料 P6～P7「平成27年度事業報告書 企画運営委員会」に沿って説明があった。

<広報委員会>

北森広報委員長から、総会資料 P8～ P9「平成 27 年度事業報告書 広報委員会」に沿って説明があった。

<健康推進部会>

西宮健康推進部会長から、総会資料 P10～ P12「平成 27 年度事業報告書 健康推進部会」に沿って説明があった。

<住民交流部会>

廣岡住民交流部会長から、総会資料 P13～ P14「平成 27 年度事業報告書 住民交流部会」に沿って説明があった。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、総会資料 P15「平成 27 年度事業報告書 教育文化部会」に沿って説明があった。

<生活安全部会>

武仲生活安全部会長から、総会資料 P16「平成 27 年度事業報告書 生活安全部会」に沿って説明があった。

<快適環境部会>

加納快適環境部会長から、総会資料 P17～P18「平成 27 年度事業報告書 快適環境部会」に沿って説明があった。

<地域福祉部会>

上島地域福祉部会長から、総会資料 P19～P20「平成 27 年度事業報告書 地域福祉部会」に沿って説明があった。

○平成 27 年度“ほっとまち”プロジェクト事業報告及び特別会計決算

大垣総務委員長から、総会資料 P23～P28「平成 27 年度“ほっとまち”プロジェクト事業報告及び特別会計決算」に沿って説明があった。

○平成 27 年度協議会会計決算報告

大垣総務委員長から、総会資料 P21「平成 27 年度協議会会計決算書」及び P22「平成 27 年度末の積立金残高及び基金残高報告書」に沿って説明があった。

○平成 27 年度協議会会計決算監査及び業務監査報告

福森監事から、総会資料 P29「平成 27 年度協議会会計決算監査及び業務監査結果について（報告）」に沿って説明があった。

○平成 27 年度公民館事業報告

中村公民館長から、総会資料 P31「平成 27 年度公民館事業報告書」に沿って説明があった。

松岡事務局次長から総会資料 P32「平成 27 年度公民館会計決算書」及び P33「平成 27 年度末の財産目録及び積立金残高報告書」に沿って説明があった。

○平成 27 年度公民館会計決算監査及び業務監査報告

福森監事から、総会資料 P34「平成 27 年度公民館会計決算監査及び

(質疑応答)	業務監査結果について（報告）」に沿って説明があった。 議長から、議案第 1 号、議案第 2 号及び議案第 3 号に関する執行部の報告が終了した旨を告げ、質疑応答に入る。 評議員からの質疑が無かったので、議長は裁決に入った。 繁田議長：「議案第 1 号 平成 2 7 年度事業報告及び協議会会計決算の承認に関する件」について評議員に対し挙手による採決を求め、賛成多数により原案通り議案第 1 号が承認された。 引き続き、「議案第 2 号 平成 2 7 年度ほっとまちプロジェクト事業報告及び特別会計決算の承認に関する件」について評議員に対し挙手による採決を求め、賛成多数により原案通り議案第 2 号が承認された。 引き続き、「議案第 3 号 平成 2 7 年度公民館事業報告及び公民館会計決算の承認に関する件」について評議員に対し挙手による採決を求め、賛成多数により原案通り議案第 3 号が承認された。
(7) 議案第 4 号 桔梗が丘自治連合協議会規約一部改定の承認及び公民館管理運営規程一部改定の報告に関する件 (質疑応答)	繁田議長：「議案第 4 号、桔梗が丘自治連合協議会規約一部改定の承認及び公民館管理運営規程一部改定の報告に関する件」について、執行部に対して説明を求めた。 大垣総務委員長から、総会資料 P35～P37「市民センターへの移行に関する桔梗が丘自治連合協議会規約の改定」について説明があった。 続いて総会資料 P38～P41「市民センターへの移行に関する公民館管理運営規程の改定」について、本規程は理事会の承認で効力を発するが、多くの変更があったので報告事項としたとの説明に続いて内容の報告があった。 議長から、議案第 4 号に関する執行部の報告が終了した旨を告げ、質疑応答に入る。 評議員からの質疑が無かったので、議長は裁決に入った。 繁田議長：「議案第 4 号、桔梗が丘自治連合協議会規約一部改定の承認及び公民館管理運営規程一部改定の報告に関する件」について評議員に対し挙手による採決を求め、賛成多数により原案通り議案第 4 号が承認された。 以上で議案第 1 号、議案第 2 号、議案第 3 号、議案第 4 号の審議が終了

(8) 総会成立宣言	し、議長、副議長が退席し、休憩に入る。 この間に新旧の評議員は交替した。 司会者から、「後半の総会は、協議会規約第18条の規定に基づき、評議員定数39名のところ36名の出席であり、評議員の過半数が出席しておりますので、本総会は有効に成立しています。」と報告があった。 引き続き、本定時総会の議事録署名人に2番町第3区の竹澤陽一氏と3番町の中川健氏を選任し承認された。
(9) 議長・副議長選任と挨拶	司会者から、議長・副議長の選任について、立候補の確認があった。司会者一任の声のもと、司会者から5番町1区の繁田邦明議長、地域福祉部会の丹羽淳子副議長が推薦され、異議なしの声があり、全員拍手をして承認された。 繁田議長・丹羽副議長から夫々着任の挨拶があった。
(10) 議案第5号 桔梗が丘自治連合協議会会長等及び理事・監事の承認に関する件	繁田議長：「議案第5号、桔梗が丘自治連合協議会会長等及び理事・監事の承認に関する件」について、執行部に対して説明を求めた。 大垣総務委員長から、総会資料P42「桔梗が丘自治連合協議会会長等及び理事・監事の承認」に沿って、協議会会長、副会長、理事、監事の候補者について紹介があった。
(質疑応答)	議長から、議案第5号に関する執行部の報告が終了した旨を告げ、質疑応答に入る。 評議員からの質疑が無かったので、議長は裁決に入った。 繁田議長：「議案第5号、桔梗が丘自治連合協議会会長等及び理事・監事の承認に関する件」について評議員に対し挙手による採決を求め、賛成多数により原案通り議案第5号が承認された。
(11) 議案第6号 平成28年度事業計画(案)及び協議会会計予算(案)の承認に関する件	繁田議長：「議案第6号 平成28年度事業計画(案)及び協議会会計予算(案)の承認に関する件」について、執行部に対して説明を求めた。 ○ 平成28年度事業計画(案) ＜総務委員会＞ 大垣総務委員長から、総会資料P44「平成28年度事業計画(案) 総務委員会」に沿って説明があった。

(質疑応答)	<企画運営委員会> 阪本企画運営委員長から、総会資料 P45「平成 28 年度事業計画（案）企画運営委員会」に沿って説明があった。 <広報委員会> 北森広報委員長から、総会資料 P46「平成 28 年度事業計画（案）広報委員会」に沿って説明があった。 <健康推進部会> 西宮健康推進部会長から、総会資料 P47～ P48「平成 28 年度事業計画（案）健康推進部会」に沿って説明があった。 <住民交流部会> 廣岡住民交流部会長から、総会資料 P49「平成 28 年度事業計画（案）住民交流部会」に沿って説明があった。 <教育文化部会> 竹原教育文化部会長から、総会資料 P50「平成 28 年度事業計画（案）教育文化部会」に沿って説明があった。 <生活安全部会> 武仲生活安全部会長から、総会資料 P51「平成 28 年度事業計画（案）生活安全部会」に沿って説明があった。 <快適環境部会> 加納快適環境部会長から、総会資料 P52～P53「平成 28 年度事業計画（案）快適環境部会」に沿って説明があった。 <地域福祉部会> 上島地域福祉部会長総会資料 P54「平成 28 年度事業計画（案）地域福祉部会」に沿って説明があった。 ○協議会会計予算（案） 大垣総務委員長から、総会資料 P55「平成 28 年度協議会会計予算書（案）」に沿って説明があった。 議長から、議案第 6 号に関する執行部の報告が終了した旨を告げ、質疑応答に入る。 ・評議員：熊本での地震等色々な地震災害が続いている。桔梗が丘ではどう防災対応しようとしているのか。避難方策とか避難活動等をお聞かせ願いたい。 それと災害時要支援者の登録シートは市ばかりでなく協議会の方でもやっていると思うが、情報の更新がされていないように思う。どういう状態になっているのか。 又、市民活動補償制度については協議会では名張市の方へ提言されていると思うが、ホームページを検索しても、2 月までしか挙がっていない。どうなっているのか。
---------------	--

辻森会長：災害対策については各24自治会で色々な形での防災訓練等を行っています。協議会全体では、名張市の防災訓練の日に、市民センターに災害対策本部を設置し、それぞれの区役員と連絡を取り合い訓練を行っています。避難経路や方法は、事前に決めていても実際の状況において対応する必要がある、想定通りは難しいと思います。一時避難場所に集まり、安否確認の上元気な人が避難者を避難所に誘導することになると思います。桔梗が丘の避難所としては各小中学校、西ではかがやき、それと市民センターになります。避難所の鍵の管理が必要になりますが、管理は各ブロックの関係者が暗証番号で鍵の保管庫を開け、その鍵で避難所を開けることで、誰がどういう状態になっても対応できるようにしています。桔梗が丘全体の災害対策本部については市民センターの中に協議会の会長、副会長等で本部を開いて対応します。

要支援者につきましては、基本的には各自治会の区長・関係役員・民生児童委員の皆さんが、それぞれの地域の情報を共有しています。桔梗全体の情報は市民センターで保管していますが、情報の更新は確実に行っているとは言えない状態です。最終的には市において、データベース管理してもらうのが最善だとは思いますが、今のところ目処は立っていません。

市民活動保険につきましては、一般参加者と公的活動者に分けて活動毎に判断する必要がありますが、一般参加者でも何かお手伝いをすることもあり、単純に参加者と公的支援者に分けられるかという問題があります。市との数回にわたる協議の結果、どんな場合でも関係者に十分聞き取りを行ったうえ検討しながら話し合いの場を持って、対処することになりました。

大垣副会長：活動保険に関しては名張市から正式に文章が届いています。会長が言われたように、地域とよく話し合って意見をよく聞いて決めていくことになります。

避難所の件では、各小学校の体育館の耐震工事は全て終わっています。鍵の問題も長年の交渉の末にようやく現状に至っています。それまでは校長とか一部の先生が鍵を持っていましたが、各地域の代表の方が行けば鍵を開けられる形になっています。

辻森会長：市民活動保険の件は、これから連合会と理事会に報告して了解を取ってから、市に了承の旨を伝えます。

・評議員：まず、企画運営委員会に質問です。昨年地域フェアが実施され良かったと感じている。それぞれの活動報告が終わった後に、意見交換会有り、色々な意見が出たと思う。その場では、2・3の報告があったのみで、意見・提案は後日報告して、今後の活動計画に反映していきたいとのことでしたがどうなっているのか。

地域フェアは80名位の参加者のほとんどが関係者でした。については今年は色んな人に参加してもらいたいと書いているが、一般の人、あるいは自由参加者をどのように募集するのか。あるいはどういう手段を取られるのかお聞きしたい。

続いて広報委員会にお聞きしたい。ききょう通信はB4をA4にするということで、6回の発行を9回にするということですが、一般にA4が氾濫しており、埋没するのではないかと心配している。A4にして9回ではなく、B4で9回を実施して欲しい。

教育文化部会にお尋ねします。ふるさと歴史ハイキングは「地域の大人と子どもが交流を図りながら、地域の歴史を学びふるさとを愛する心を育てる。」と書いてあるが、25年は2人、26年は1人、昨年は3人と子供の参加があまりにも少ない。それであれば他の部会あるいはプロジェクトでもハイキングは計画されていますから、一緒にされるというのはどうでしょうか。

あと一点。この議案書というか、立派な冊子についてです。他のまちづくり委員会とかの団体が見学に来られていると思います。その時に渡すこの冊子は、ほとんどの地域では400円、500円と有償ですので、こちらも有償にされることを提案します。

阪本企画運営委員長：昨年度の地域フェアについては、事業報告の中に書かせてもらいましたが、入りにくい会議のような雰囲気ではなく気軽に立ち寄れる、協議会活動は楽しい等の趣旨が分かる工夫が必要との反省があります。昨年度は7名、一般の参加がありました。この反省を下に今年度の事業計画に盛り込んだのは、昨年度は準備を始めたのが10月と遅くなりましたが、今年度は早めに6月に打ち合わせを行い、検討を始めます。つきましては今日参加の方も是非参加して頂きたいと思います。

北森広報委員長：桔梗通信をB4で年9回の発行としたいと思いますが、費用の問題が出てきます。それと取材から編集までのパワーの問題があります。9回に増やすためにはそれだけパワーが必要になります。費用的には、今まで24万円でしたが、B4で年間9回としますと大体50万円掛かります。つきましては、今年1年はA4で続けさせていただいて、来年度の検討課題としたいと思います。

竹原教育文化部長：ふるさと歴史ハイキングは当初袋詰のお菓子があり、沢山の子供の参加がありましたが、このお菓子がなくなっただけから参加が少なくなりました。何とかしようと思って桔「ずセミナーやこころの思い発表会等の機会に話をしていますが、土曜日ということでスポーツクラブに入っている子供さんも多いのが実情です。毎回楽しみに参加してくれている人も多く、今後いろいろと検討し工夫していきたいと思います。

- ・評議員：答えは要りません。10号公園をお年寄りが歩いており、挨拶をしている。しかし、残念なことに北西のところで行き止まりになっており周遊できない。1番狭い所で12m位しかないので橋を架けることを考えて欲しい。

それと公園では子供の声が聞こえない。たまに聞こえるのは保育園か幼稚園の園児の声だけ。月に1回程度小学生も含めて公園を使って全体が参加できるイベントを行ってはどうか。

大垣副会長：貴重なご意見に対し、行事の見直し、重なっている部分の見直しを順次行っていきます。無駄を省いてやっていきます。

- ・評議員：生活安全部会で消防のことが2か所書かれている。消火栓は耐用年数があるがどこまで使われているのか。また、消火栓は訓練でも開けられないし、使ってもらっては困るということで新たに設置する必要があるのか。

上田副会長：現在、消火栓は6か所あります。消防団にお願いして栓を開けてもらってホースをつなぐまでは点検してくれています。水を出すと濁るので本番だけしか使えないのが実情で、普段は水を出さないのが方針です。

耐用年数については消防団が見ています。最近泥棒がおり、先端金具を持っていくことがあるので注意が必要です。

(評議員：使える状態でないと意味が無い。予算の関係もあるので無駄なものは置かない方が良いのではないかな。) ⇒ (上の質問と重複により削除)

辻森会長：消火栓ボックスは旧区長会が作ったものです。最近では設置して欲しいという自治会も増えています。一旦水を出すと水道水が当分使えませんが、訓練無しでは使えません。去年から鈴鹿の消防署で放水の訓練をして緊急時に備えています。安心のために置いておくということで今年は2箇所設置したいと思います。ご理解お願いいたします。

評議員からの質問が終了したので、議長は採決に入った。

繁田議長：「議案第6号 平成28年度事業計画（案）及び協議会会計予算（案）の承認に関する件」について評議員に対し挙手による採決を求め、賛成多数により原案通り議案第6号が承認された。

繁田議長：「議案第7号 平成28年度“ほっとまち”プロジェクト事業計画（案）及び特別会計予算（案）の承認に関する件」について、執行部に対して説明を求めた。

(12) 議案第7号 平成28年度“ほっとまち”プロジェクト事業計画(案)及び特別会計予算(案)の承認に関する件 (質疑応答)	大垣総務委員長から、総会資料P56～P60「平成28年度“ほっとまち”プロジェクト事業計画(案)及び特別会計予算(案)」に沿って説明があった。 議長から、議案第7号に関する執行部の報告が終了した旨を告げ、質疑応答に入る。 評議員からの質疑が無かったので、議長は裁決に入った。 繁田議長：「議案第7号 平成28年度“ほっとまち”プロジェクト事業計画(案)及び特別会計予算(案)の承認に関する件」について評議員に対し挙手による採決を求め、賛成多数により原案通り議案第7号が承認された。
(13) 議案第8号 平成28年度市民センター事業計画(案)及び市民センター会計予算(案)の承認に関する件 (質疑応答) 5. 議事終了の挨拶	繁田議長：「議案第8号 平成28年度市民センター事業計画(案)及び市民センター会計予算(案)の承認に関する件」について、執行部に対して説明を求めた。 ○市民センター事業計画(案) 木村市民センター長から、総会資料P62「平成28年度公民館事業計画(案)」に沿って説明があった。 ○市民センター会計予算(案) 松岡事務局次長から、総会資料P63「平成28年度市民センター会計予算(案)」に沿って説明があった。 議長から、議案第8号に関する執行部の報告が終了した旨を告げ、質疑応答に入る。 評議員からの質問が無かったので、議長は採決に入った。 繁田議長：「議案第8号 平成28年度公民館事業計画(案)及び公民館会計予算(案)の承認に関する件」について評議員に対し挙手による採決を求め、賛成多数により原案通り議案第8号が承認された。 大垣総務委員長より、平成28年度事業計画(案)は全て承認され、事業計画(案)及び会計予算(案)が事業計画及び会計予算となりましたので、総会資料の「(案)」の部分を消去していただくようお願いがあった。 繁田議長：以上で本日提案された議案は全て終了いたしました。これをもって議事を終わります。ありがとうございました。

○閉会にあたっての挨拶

司会者から長時間に渡る審議に対するお礼が述べられ、協議会から名張市地域環境部長の田中明子氏に総会についての感想と総評を述べてもらった。

名張市地域環境部田中部長

・初めて桔梗が丘自治連合協議会の定時総会に参加したが、自分たちの桔梗が丘をどうしていこうかという執行部の熱い思いを、評議員の皆さんが受け止めて協議しているのを見て、名張市の住民自治は進んでいると改めて感じた。

・名張市に対する要望を多く頂いた。名張市ができること、できないこと、色々ありますが、すぐ動くには、その前にお金が無いので、できることが限られてくる。しかし、知恵や汗を出すことはできる。従って、今後とも良き支援者でいたい、一緒に深く考えるというスタンスで業務を遂行していきたいと考えている。これからもよろしくお願いします。

上田副会から、長時間に亘る審議に対するお礼が述べられ、審議の中で出された貴重な意見を今後の活動に活かしていきたいとの話があり、市民センターへの移行、プロジェクト事業に対する課題やお助けセンター、桔梗が丘小中学校の統廃合の問題について、地域の皆さんの協力を得て、活力ある桔梗が丘のまちづくりを進めていきたいとの表明があった。

最後に、評議員の皆さん、傍聴席の皆さんに対するお礼と共に、名張市地域環境部の田中部長に対するお礼を述べ、閉会の挨拶があった。

6. 閉会の辞

司会者：これを持ちまして平成28年度定時総会を閉会いたします。

議

長

繁田邦明



議事録署名人

竹三郎 陽一



議事録署名人

中川 健



	会 長	副会長	副会長	総務委員長	書 記
					